

自転車利用実態定点調査報告

平成27年 11月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年 10月 30日

[午前]9:00~10:00

調査場所 • 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点（首都高速目黒線直下）から70m程の上り坂）

概要 • 調査対象（車道線：目黒通り上り4車線及び歩道幅員3.1m
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり]）

調査対象外（反対側上り歩道）



歩道		← 対象外 対象エリア
上り線車道	←直進・右折レーン	
	←直進レーン	
	←左折レーン	
	←左折レーン	
歩道	↑	
白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査（車道、歩道）と危険走行調査

白金五丁目自転車調査結果				
	左側走行	中央	両側	危険運転
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

調査日時：平成 17 年 10 月 29 日
大気：晴
調査時間：～

<調査票>

[コメント]

- ◎走行空間においては、車道左側走行率は、27%であり、また、車道中央走行率も、20%、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割強を占めている。
- ◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(16件)・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ(各5件)子乗せ後部席に荷物掛け・片手運転(各1件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の 10/29 午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(27%)に対し、前回(16%)の約 1.7 倍の水準。
上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・27%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・25%)と、ほぼ同様

・子乗せ自転車

今回(15%)に対し、前回(17%)と、ほぼ同様
上り地点(15%)に対し、下り地点(25%)の 6 割の水準

・電動自転車

今回(26%)に対し、前回(37%)の 7 割の水準
上り地点(26%)に対し、下り地点(35%)の約 8 割の水準

・危険運転行為 上り地点の【肩に荷物・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ】に対し、
 下り地点では【肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転】と、
(違反行為を含む) 共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物の 2 件となっている。

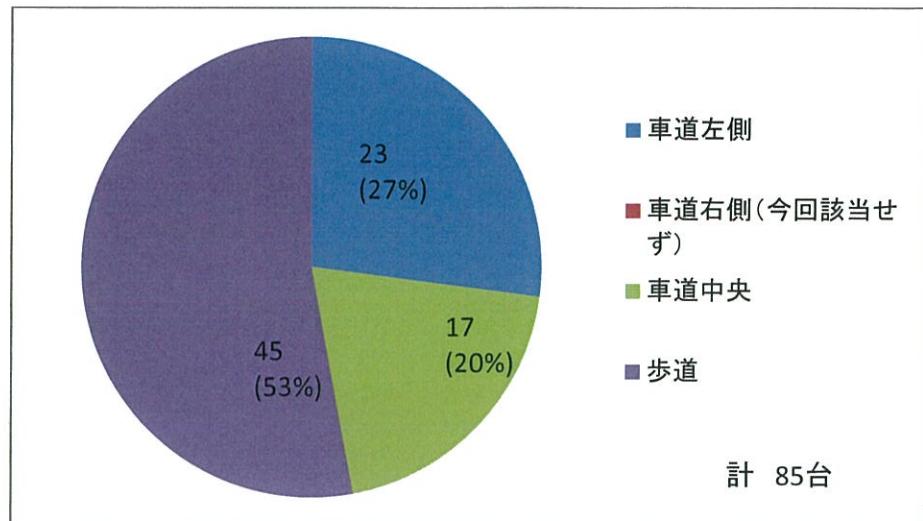
なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から 道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が 2 車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。

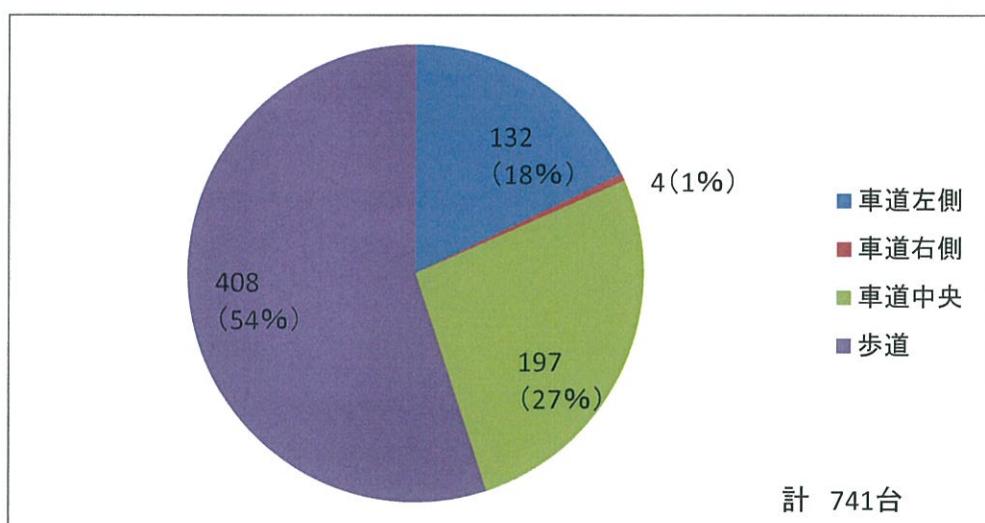
本年 6 月に道路交通法が改正され自転車利用者にとっては、交通ルール・マナー等の遵守が徹底された。

今回は、前回までの減少傾向から一転して、自転車総合ビル前、白金地点のデータ共に回復した。

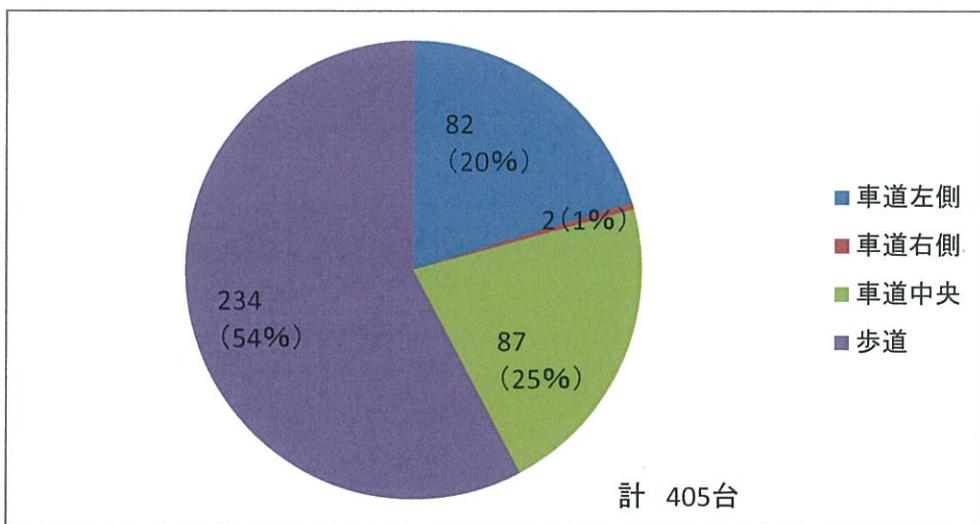
こちらも秋の交通安全運動の影響なのか?
引き続き、今後の状況を見守りたいものである。



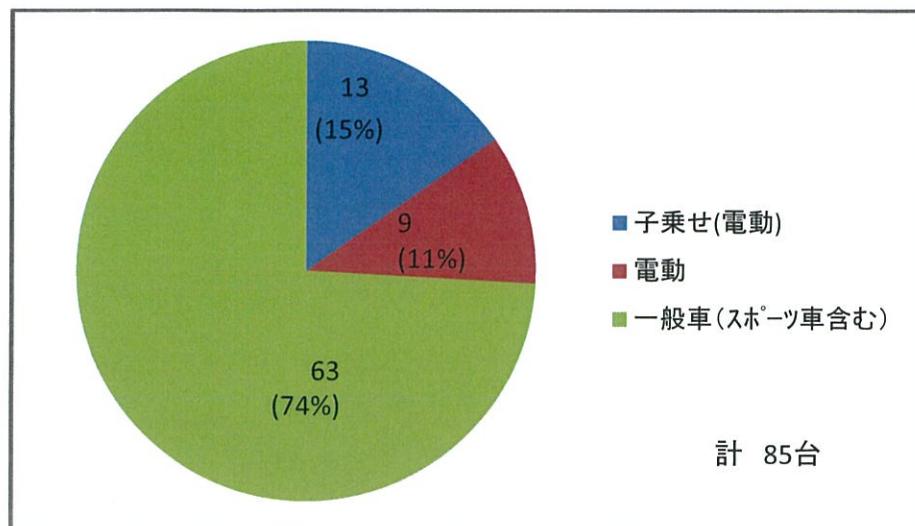
*参考)



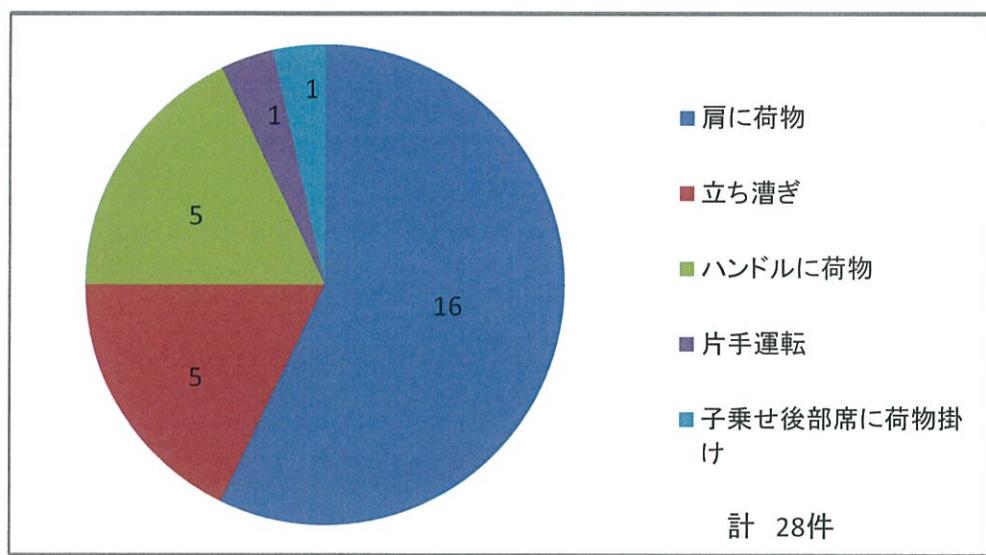
調査期間 26.7～27.5（道路交通法改正前）



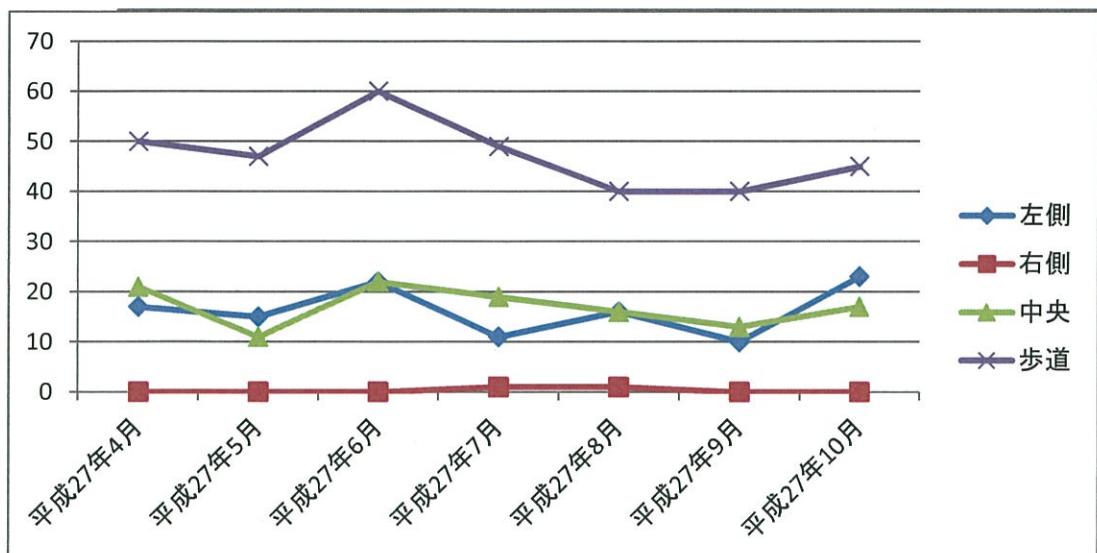
調査期間 27.6～27.10（道路交通法改正後）



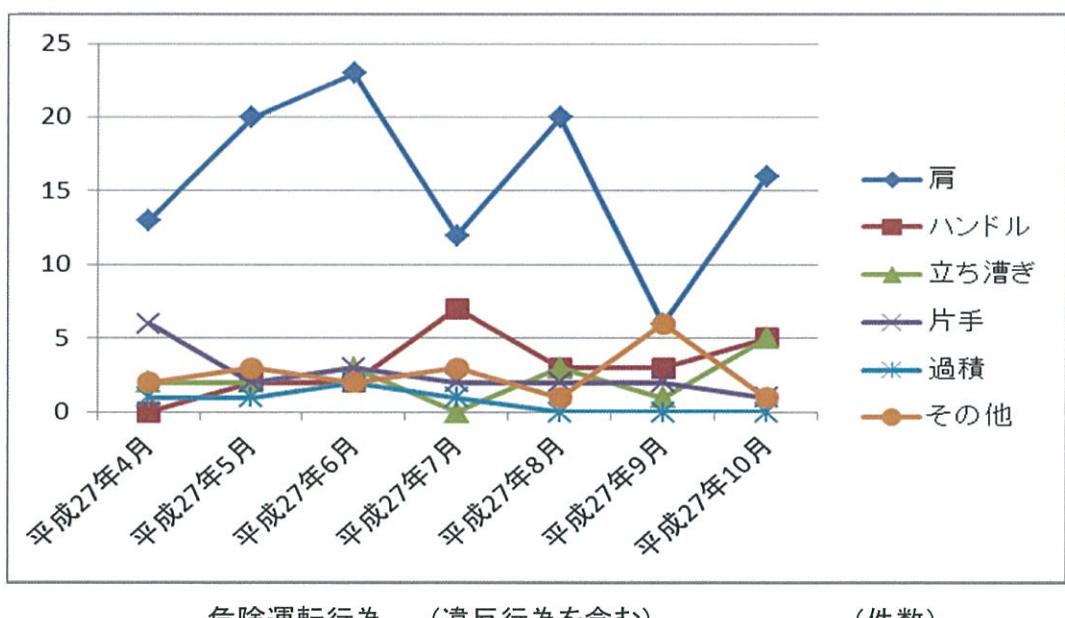
車種



危険運転行為 (違反行為を含む)



走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)